

氏名	内山真理	部署	健康開発学科	職名	講師
研究分野	公衆栄養、栄養教育				
学位	博士(医学)				
学歴	1995年静岡県立大学食品栄養科学部栄養学科、1997年静岡県立大学大学院生活健康科学研究科食品栄養科学専攻修士課程、2005年東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科・環境社会医歯学系健康推進医学博士後期課程				
経歴	1997年飯田女子短期大学家政学科食物栄養専攻助手、2002年静岡県立大学食品栄養科学部栄養学科助手、2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科講師				
所属学会(役職)	日本公衆衛生学会、日本栄養改善学会、日本骨粗鬆症学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	該当なし				
(3) 学会発表					
1	地域在住高齢者の骨密度・体力・QOLおよび食事内容の検討	共著	第52回日本理学療法学会大会(東京)	○藤縄理、菊本東陽、須永康代、村田健児、善生まり子、 <b>内山真理</b> 、萱場一則、廣瀬圭子、遠藤直人	2017.5
2	Relationship between physical exercise and sleep in people who underwent a health checkup in Japan	共著	The 21st International Epidemiological Association, World Congress of Epidemiology (Japan)	○Yoshinori Kitabatake, Kazunori Kayaba, <b>Mari Uchiyama</b> , Hiroaki Nobuhara.	2017.8
3	中高齢女性における体力と栄養素摂取状況の関連	単著	第64回日本栄養改善学会(徳島)	○ <b>内山真理</b>	2017.9
4	骨粗鬆症と転倒の予防教室参加者の骨密度・体力・QOLおよび食事調査結果に及ぼす運動と食事の効果	共著	第19回日本骨粗鬆症学会(大阪)	○藤縄理、 <b>内山真理</b> 、菊本東陽、須永康代、村田健児、善生まり子、萱場一則、廣瀬圭子、遠藤直人	2017.10
5	喫煙と生活満足度との関連	共著	第76回日本公衆衛生学会総会(鹿児島)	○伊藤奏、延原弘章、若林チヒロ、野口有紀、北島義典、本間三恵子、 <b>内山真理</b> 、新村洋未、山口乃生子、金さやか、柳川洋	2017.11
6	地域住民の受動喫煙の実態	共著	第76回日本公衆衛生学会総会(鹿児島)	○延原弘章、本間三恵子、若林チヒロ、北島義典、 <b>内山真理</b> 、伊藤奏、新村洋未、山口乃生子、金さやか、野口有紀、柳川洋	2017.11
7	中国北京市、韓国、日本における喫煙と受動喫煙	共著	第76回日本公衆衛生学会総会(鹿児島)	○若林チヒロ、伊藤奏、野口有紀、本間三恵子、 <b>内山真理</b> 、山口乃生子、北島義典、新村洋未、延原弘章、金さやか、柳川洋	2017.11
8	健康情報を求める者の属性・主観的健康感および生活満足度:本邦・ハワイの比較	共著	第76回日本公衆衛生学会総会(鹿児島)	○本間三恵子、延原弘章、若林チヒロ、北島義典、 <b>内山真理</b> 、伊藤奏、新村洋未、山口乃生子、金さやか、野口有紀、柳川洋	2017.11
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	該当なし				
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					

1	健康行動科学セミナー	2017.5	専門導入科目として、食からの行動科学的アプローチについて事例を用いて解説した。	
2	健康栄養演習	2017.4-2017.8	ICタグ付きフードモデルを用いた食事診断、簡易型自記式食事歴法、秤量法による食事調査を体験させ、食事調査の長所、短所、食事摂取基準を用いた食事アセスメントや活用方法を理解させることができた。	
3	栄養学・食生活論①②	2017.10-2018.2	栄養学の専門知識を養うと共に、健康の維持・増進と疾病予防のために、栄養素から食品、料理レベルに置き換え、食生活へ応用ができるように意識しながら講義を行った。	
4	食の科学	2017.10-2018.2	旨味に関する調理科学実験などを取り入れ、減塩を科学的に考え、調理に結びつけるように工夫をした。また、e-ラーニングを活用した課題を出し、講義内容の理解の確認を行い、授業外学習を促進した。	
<b>(2) 演習</b>				
1	課題別演習 I	2017.4-2017.7	栄養教育、公衆栄養に関する文献検索、文献講読、ゼミでの発表・議論など卒業研究に必要な基礎的スキルについて指導した。	
2	課題別演習 II	2017.10-2018.2	栄養教育、公衆栄養に関する文献を読み、卒業研究で取り組む研究課題に関する学術的背景、目的、社会的意義、研究方法について議論した。	
<b>(3) 実習</b>				
1	ヒューマンケア体験実習	2017.5-2017.10	2施設の学外実習について、施設訪問、学生指導、評価を担当した。	
2	健康行動科学実習	2017.12	健康支援プログラム(栄養)の指導および監督を行った。	
<b>(4) 論文指導</b>				
1	学士課程	2017.4-2018.1	主指導 4名	
<b>(5) その他</b>				
1	学年担当	2017.4-2018.3	健康行動科学専攻2年生の学年担当として、学生のサポートを行った。	
<b>4. 社会貢献活動</b>				
<b>(1) 講演会、研修会等の講師</b>				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	越谷市保健事業・講師	越谷市	「健康的にやせる栄養の基礎」	2017.5
2	キッズフェスタ・食育	春日部市武里大枝公民館	めざせ☆おはしマスター(豆つかみゲーム)	2017.8
3	栄養講座・講師	春日部市武里大枝公民館・埼玉県立大学	「はじめよう」節塩生活」	2017.11
<b>(2) 国、自治体、財団法人等における委員等</b>				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	該当なし			
<b>(3) ジャーナリズムでの発言</b>				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
<b>5. 学内運営(委員会委員)</b>				
1	情報図書委員会 委員			
<b>6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)</b>				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
<b>7. 特許の保有状況</b>				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
<b>8. 特記事項</b>				
	該当なし			